

適用機種

CB400 SUPER BOL D'OR

グリップヒータアタッチメント

取付説明書

販売店様へ

この取付説明書は、必ずお客様にお渡しください。

お客様へ

この取付説明書は、必ず保管してください。

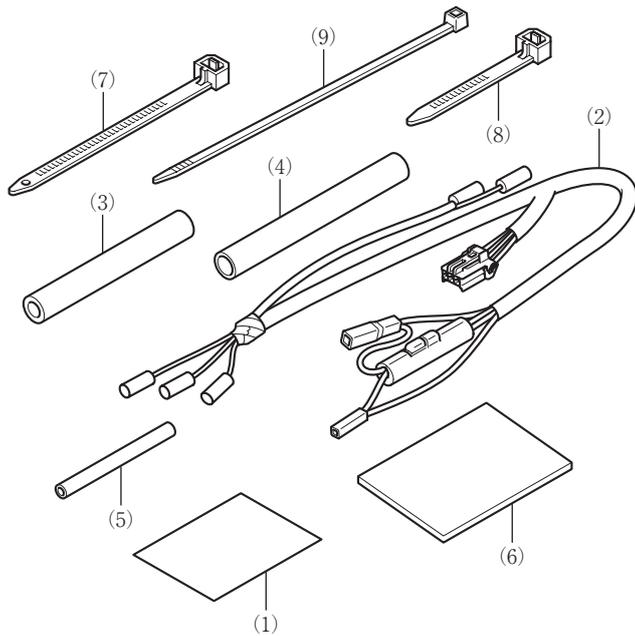
シンボルマークについて

下記のシンボルマークは、本書を通して作業上の注意事項を表示しています。

- 危険** 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
- 警告** 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性のあるもの
- 注意** 指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの
- アドバイス** お車と用品のために守っていただきたいこと
- 知識** 知っておいていただきたいこと知っておくと便利なこと

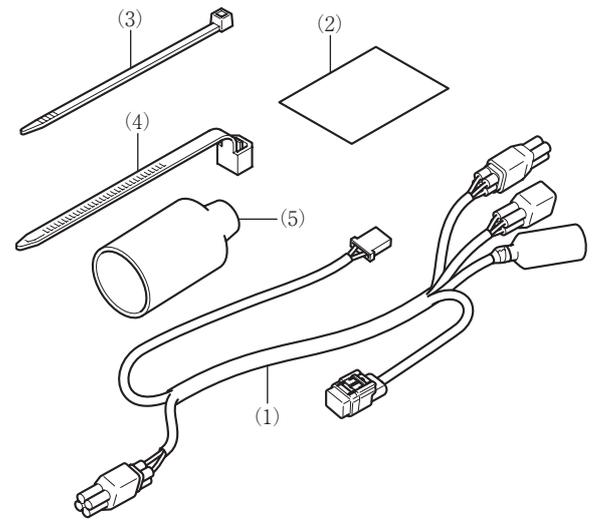
構 成 品

取扱説明書及び取付要領書が同梱されているときは、必ずお客様にお渡しください。



見出し番号	部品名称	個数
(1)	URL ペーパー	1
(2)	グリップヒータハーネス	1
(3)	チューブ (中)	1
(4)	チューブ (長)	1
(5)	チューブ (短)	1
(6)	両面テープ	1
(7)	ハーネスバンド (中)	4
(8)	ハーネスバンド (短)	4
(9)	ハーネスバンド (長)	3

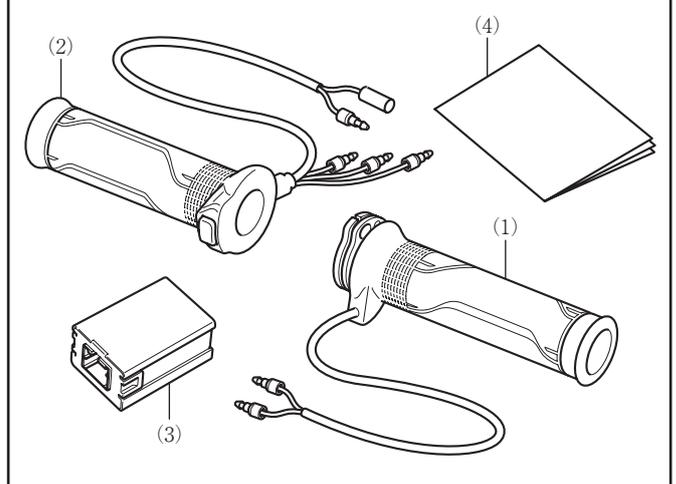
サブハーネス  
別売品



取り付けは用品の取付説明書をご覧ください。

見出し番号	部品名称	個数
(1)	サブハーネス	1
(2)	URL ペーパー	1
(3)	ハーネスバンド (細)	3
(4)	ハーネスバンド (太)	1
(5)	ハーネスブーツ	1

グリップヒータキット  
別売品



見出し番号	部品名称	個数
(1)	右側グリップヒータ	1
(2)	左側グリップヒータ	1
(3)	コントローラ	1
(4)	取扱説明書	1

## 必要工具

- ・ マイナス配線ドライバ
- ・ ニッパ
- ・ ドリル (6 mm 径刃)
- ・ マーカ
- ・ 定規
- ・ ビニールテープ
- ・ Honda ボンド A
- ・ ネジロック剤
- ・ グリース
- ・ はさみ
- ・ 脱脂洗浄剤 (イソプロピルアルコール)
- ・ ウェス
- ・ 車両の部品の取り外し、取り付けに必要な工具は、サービスマニュアルを参照してください。

## トルクについて

- ・ 車両の部品の締め付けトルクはサービスマニュアルを参照してください。

## 取付について

### 警告

- ・ 各スクリュー、ボルト、ナットは確実に締め付けてください。締め付けが不確実なときは走行中に脱落し、運転者または後続車の乗員や歩行者を死亡または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。
- ・ フューエルタンクの取り外し、取り付けには十分に注意し、サービスマニュアルを参照の上作業をしてください。ガソリンは非常に引火しやすいため、火の気のない場所で作業してください。電気のスパークによる火花にも十分に注意してください。また、蒸発 (気化) したガソリンは爆発の危険もあるため、通気の良い場所で作業してください。
- ・ スロットルケーブルを車両から取り外すときはプライヤなどで無理に外さないでください。スロットルケーブルが折れ曲がりスロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- ・ 左側グリップヒータとハンドルの接着を確実にを行うために必ず指定の接着剤 (Honda ボンド A) を使用し、接着されるまで乾燥させ、必ず確実に接着されているか確認してください。指定外の接着剤を使用したり、十分な乾燥時間をとらないと走行中にグリップヒータが外れることが原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- ・ 右側グリップヒータを車両に取り付けたときは必ずスロットルの開閉を行い、引っかかりが無いか確認してください。確認をおこたると、スロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

### 注意

- ・ 取り付け作業はエンジン、マフラが完全に冷えてから行ってください。高温のまま作業を行うと、火傷などを負う可能性が高くなります。

## アドバイス

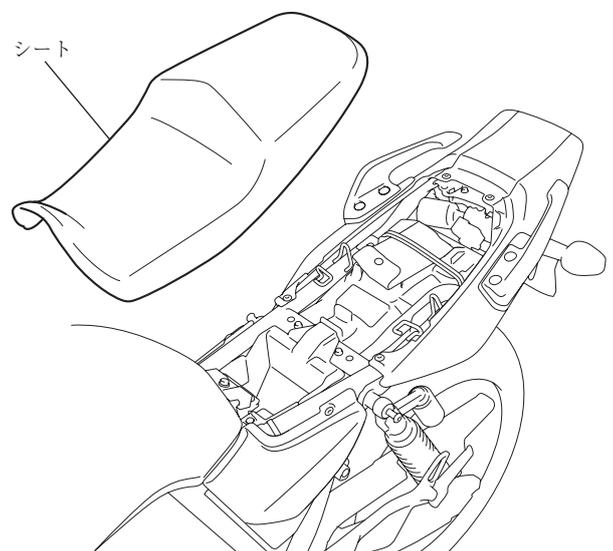
両面テープの接着力が低下して用品がはがれ脱落させないために、接着するときは、必ず以下の内容を守ってください。

- ・ 用品を貼り付ける前に位置の確認を行い、接着面のずれが無いようにしてください。
- ・ 用品の貼り付け面に汚れ、水分、ホコリ、油分があると、接着力が不足するので接着面の脱脂を十分に行ってください。
- ・ 用品を貼り付けるときの気温が21度以下のときは、接着力を増すために接着面と用品のシール部をドライヤなどで少し暖めてから貼り付けてください。
- ・ 用品を貼り付けた後は、両面テープが確実に接着されるように用品の上から押し付け、接着力を低下させないために1、2日は衝撃など無理な力を加えないようにしてください。
- ・ 用品を貼り付けた日から、1、2日は洗車や雨中走行、雨中放置は行わないでください。

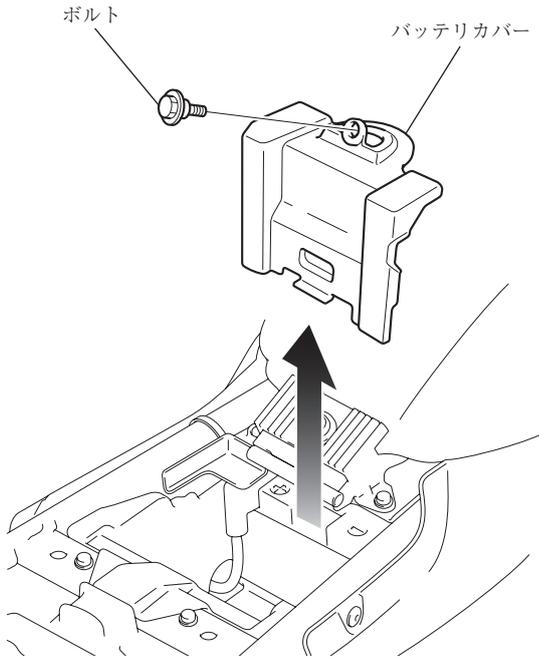
- ・ ETC 車載器、アラームとの同時装着は、本書とそれぞれの取付説明書を参照してください。
- ・ 取り付けは、必ずバッテリーケーブル (-) を外してから行ってください。
- ・ バッテリーを外すと、時計などがリセットされるので再度設定してください。
- ・ 取り外した部品は、元の仕様に戻すとき必要になりますのでお客様にお渡しください。
- ・ 外装部品などの再取り付け時、配線類のかみ込みがないことを確認してください。
- ・ 取り付け完了後、灯火器 (ヘッドライト、左右のウインカ、ブレーキライト) の作動確認およびスロットルグリップの引っかかりが無いことを確認してください。
- ・ ハーネスバンドの余った部分はカットしてください。また、カットした部分が他のハーネスやブレーキホースなどに干渉しないようにしてください。

## 取付方法

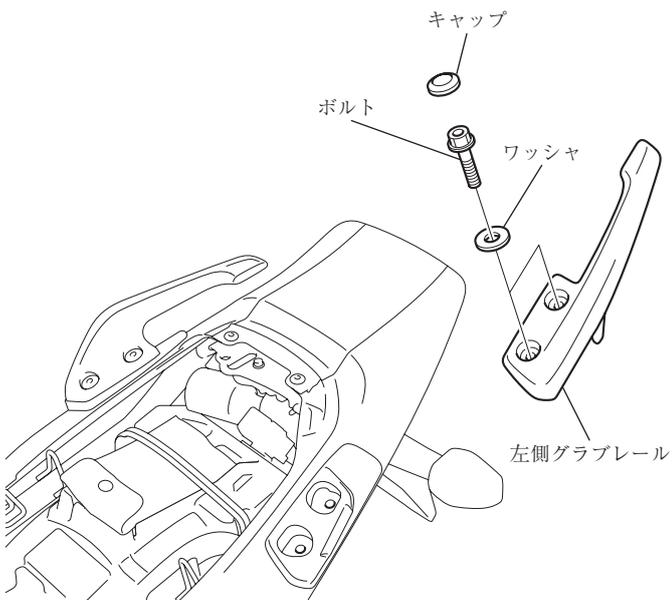
1. サブハーネスの取り付け
  - 1) サブハーネスの取付説明書を参照して、サブハーネスを取り付ける。
2. 車両部品の取り外し
  - ・ 手順 1) ~ 5) は、サブハーネス取り付け後など既に外しているときは行う必要がありません。
  - 1) 図のようにシートを取り外す。



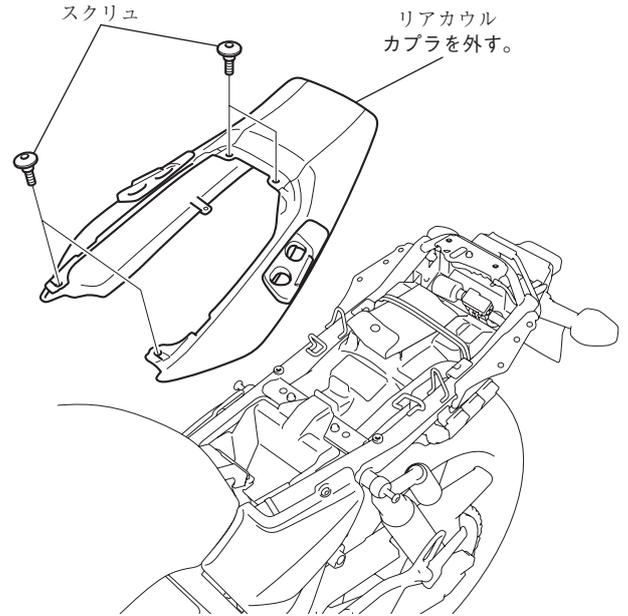
2) 図のようにバッテリーカバーを取り外し、バッテリーケーブル(-)を取り外す。



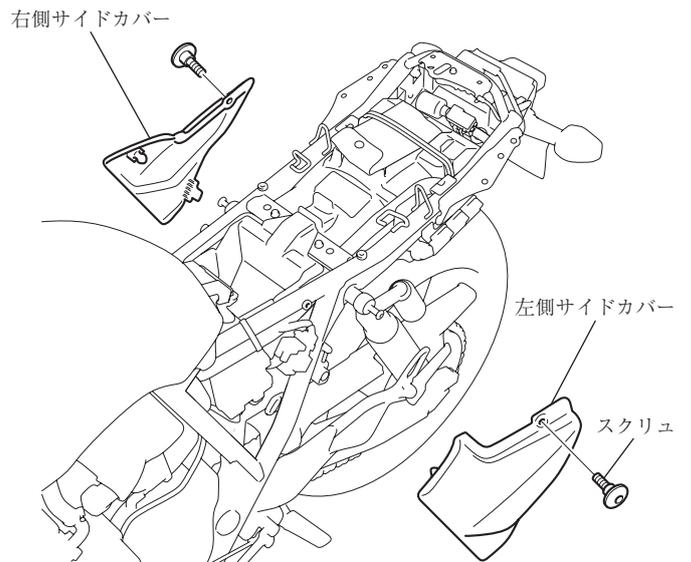
3) 図のように左側グラブレールを取り外す。  
・右側も同様に取り外してください。



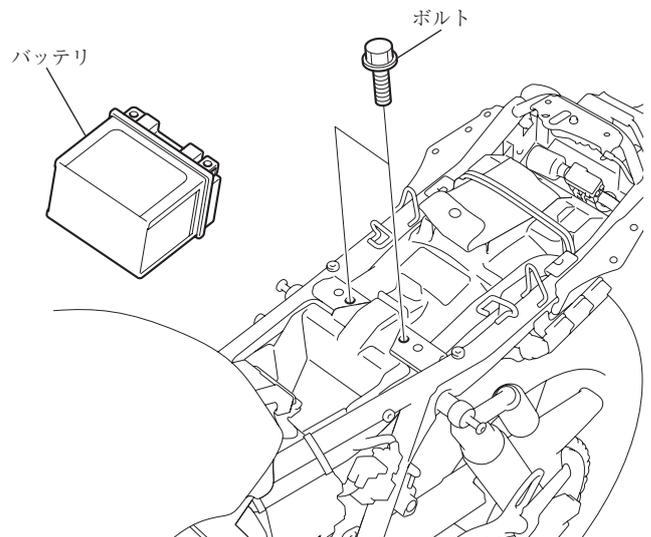
4) 図のようにリアカウルを取り外す。  
・アラーム装着車はアラームの取付説明書を参照して、コントロールユニットの各プラを取り外してください。



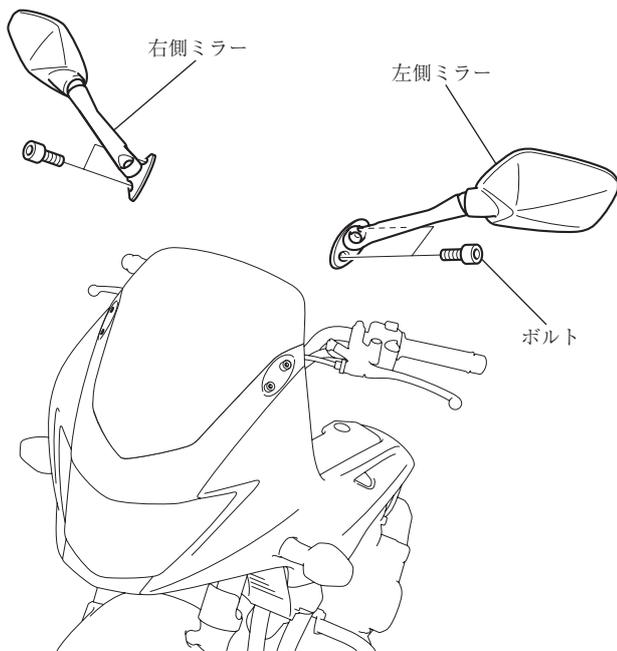
5) 図のように左右のサイドカバーを取り外す。



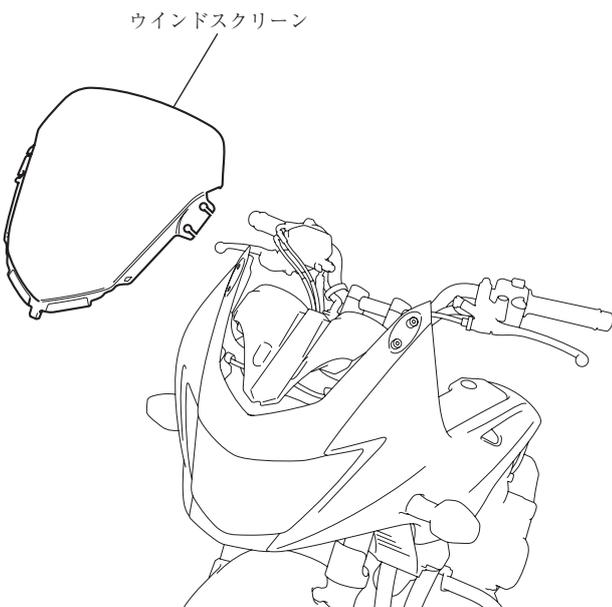
6) 図のようにバッテリー、ボルトを取り外す。



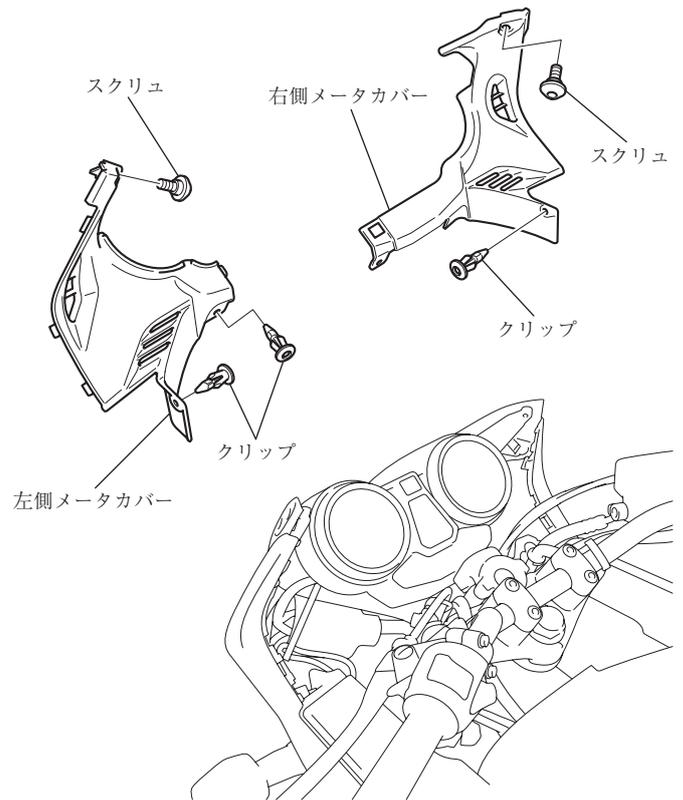
7) 図のように左右のミラーを取り外す。



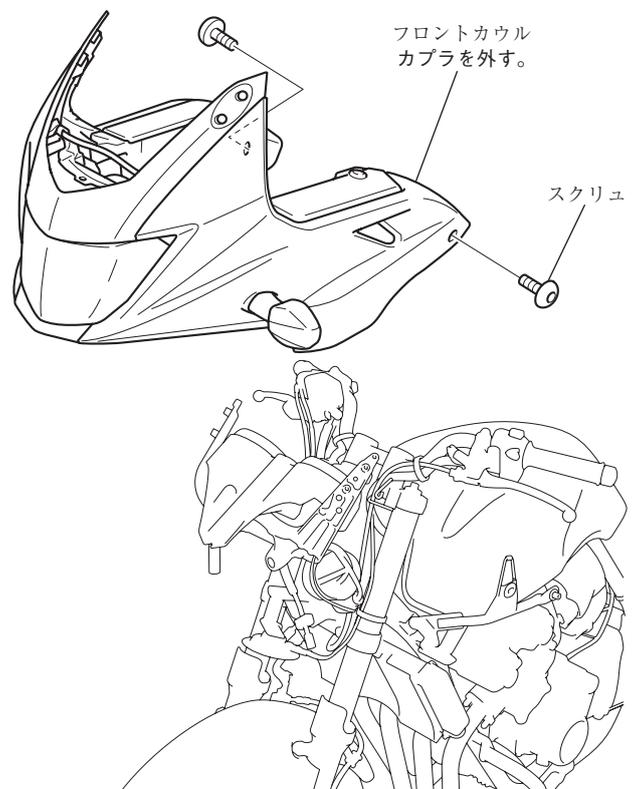
8) 図のようにウインドスクリーンを取り外す。



9) 図のように左右のメータカバーを取り外す。



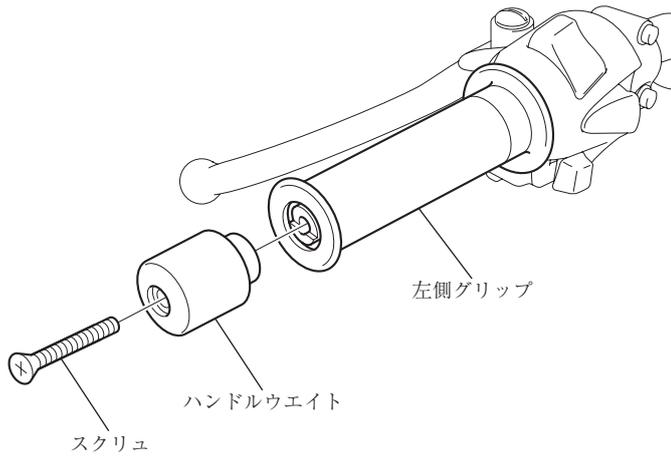
10) 図のようにフロントカウルを取り外す。



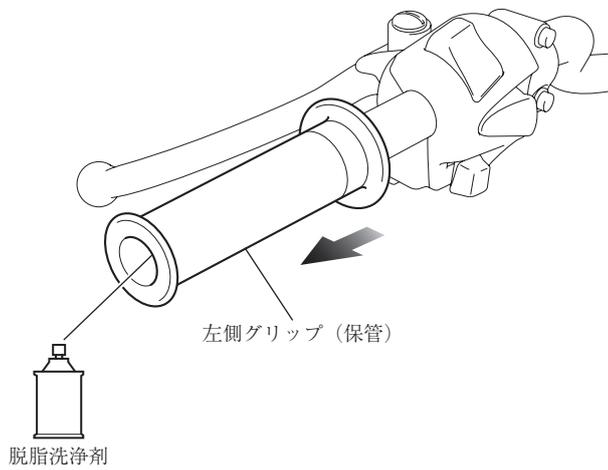
### 3. 左側グリップヒータの取り付け

- 1) 図のようにハンドルウエイトを取り外す。  
・右側も同様に取り外してください。

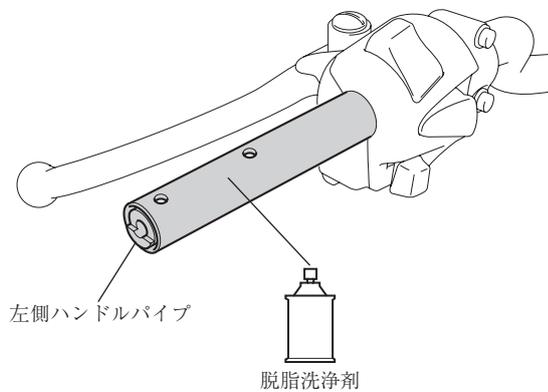
〈左側〉



- 2) 図のように左側グリップを取り外す。



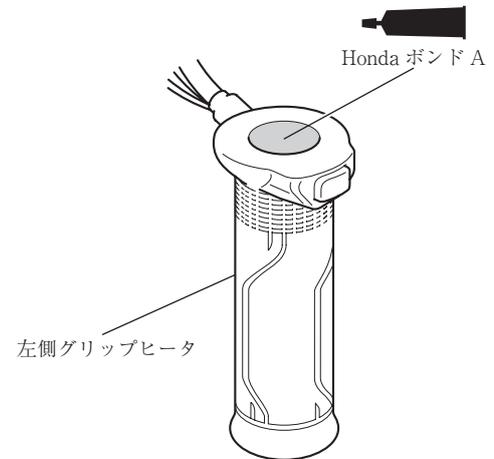
- 3) 脱脂洗浄剤を使用し、左側ハンドルパイプに付いている接着剤を取り除く。



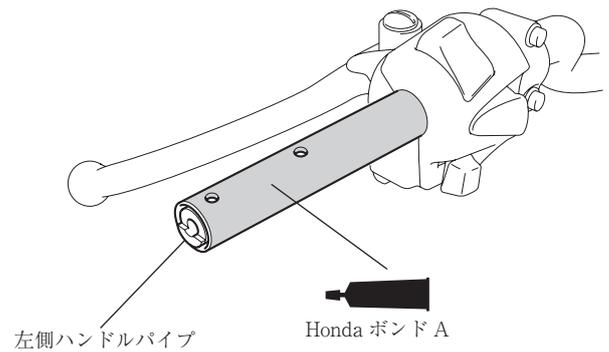
- 4) 左側グリップヒータの穴周辺に Honda ボンド A を多めに塗布する。

#### 🏍️ アドバイス

- ・手順 4) ~ 7) は、作業内容を一読し全て確認してから、接着剤が乾かないうちに作業してください。また、車両が倒れないように補助を一人付けてください。

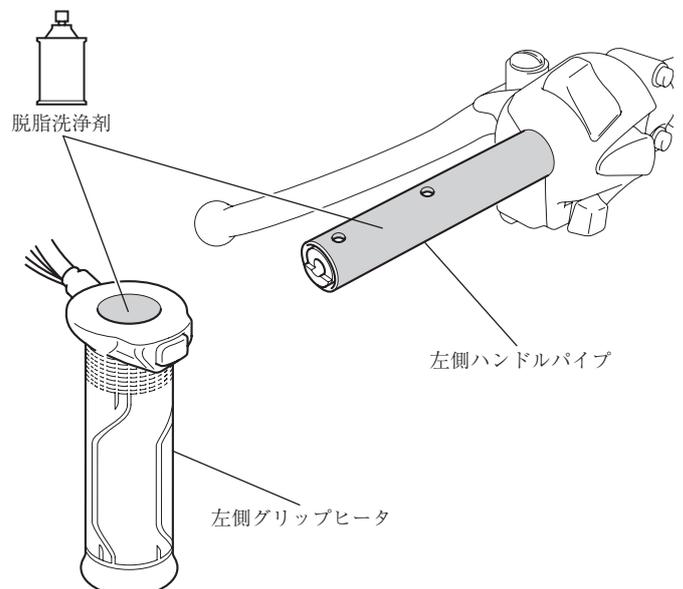


- 5) 図のように左側ハンドルパイプに Honda ボンド A を塗布する。



- 6) 脱脂洗浄剤を左側グリップヒータ内周面、左側ハンドルパイプ外周面にスプレーする。

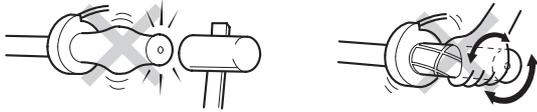
- ・取り付け位置を合わせやすくするために行います。



- 7) 図の位置に左側グリップヒータを取り付ける。  
 ・はみ出た接着剤は拭き取ってください。

**アドバイス**

- グリップヒータを挿入するとき、「グリップエンドをハンマでたたく」「グリップを強くねじる」などは行わないでください。グリップヒータ内で断線する恐れがあります。

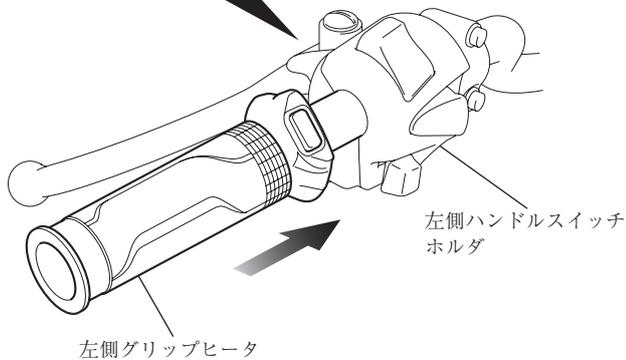
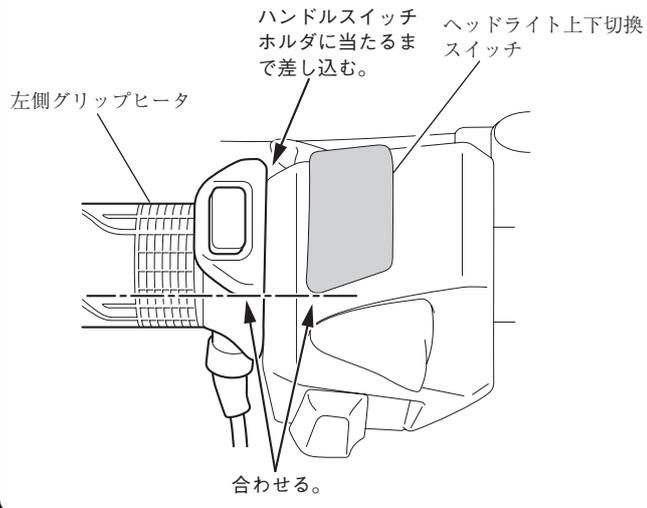


- 左側グリップヒータを挿入するとき、スイッチ部を押しての挿入は行わないでください。スイッチ部が破損する恐れがあります。また、スイッチホルダとの隙間がないように取り付けてください。



- 万一、グリップヒータが途中で入らなくなったときは、グリップヒータとハンドルパイプの隙間に脱脂洗浄剤を入れて取り外してください。無理に配線ドライバなどでこじ開けると、グリップヒータ内で断線する恐れがあります。

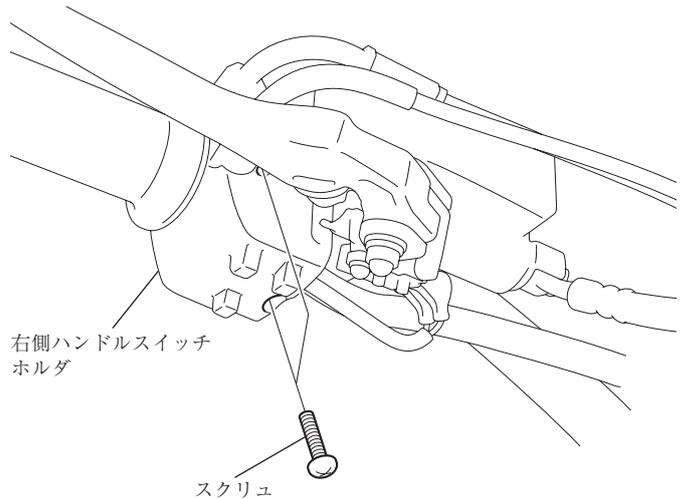
ハンドルスイッチホルダに当たるまで差し込み、図の位置に合わせる。



**4. 右側グリップヒータの取り付け**

- 1) 図のスクリュを取り外す。

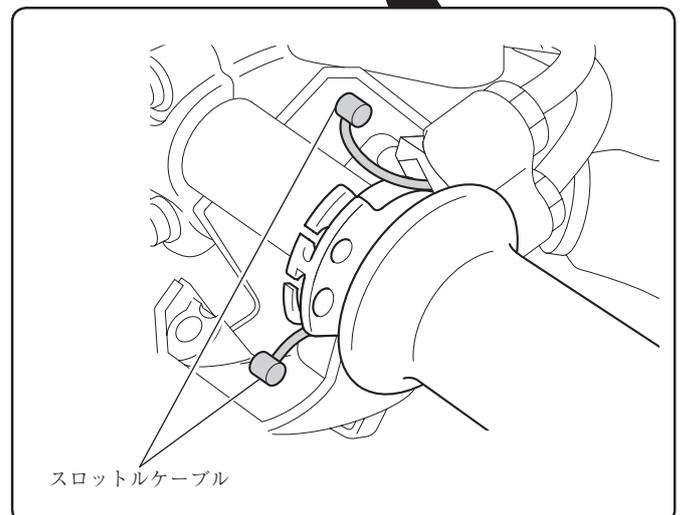
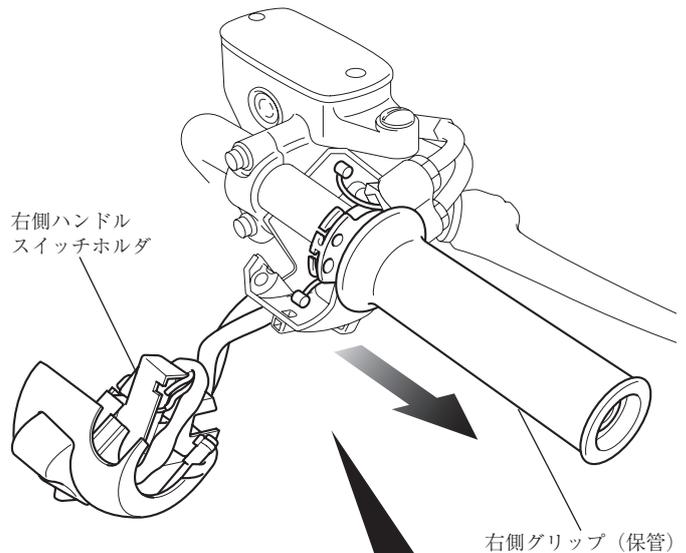
〈右側〉



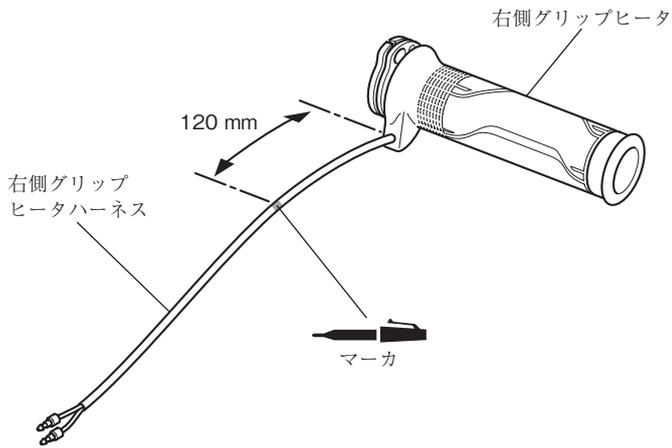
- 2) 図のように右側グリップを取り外す。

**警告**

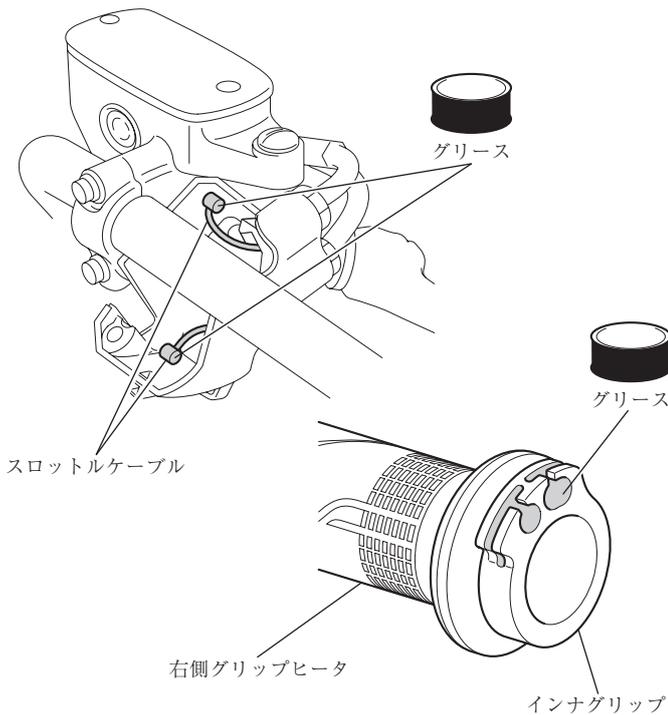
- スロットルケーブルを右側グリップから外すときは、プライヤなどで無理に外さずに必ず車両のサービスマニュアルを参照してください。無理にプライヤなどで外すとケーブルが折れ曲がり、スロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。



3) 図の寸法でマークを付ける。

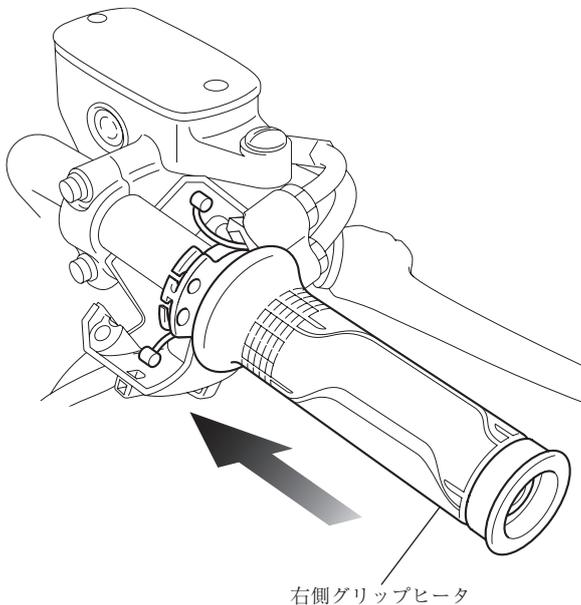


4) 図の ■ 部にグリースを塗布する。



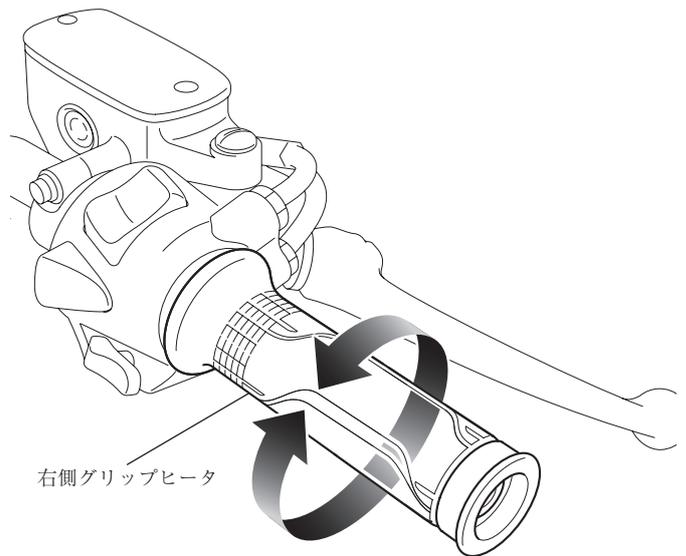
5) 取り外しの逆手順で右側グリップヒータ、右側ハンドルスイッチホルダを取り付ける。

- ・取り付け後、サービスマニュアルを参照してスロットルの遊びを調整してください。

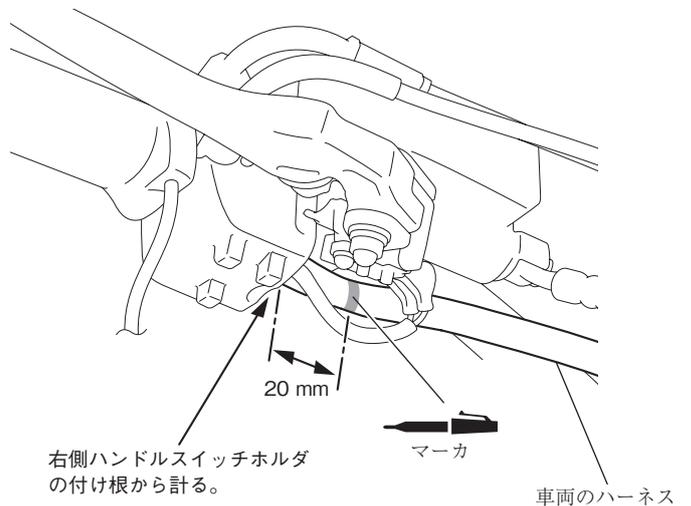


6) 図のようにスロットルの開閉を行う。

- ・開閉がスムーズに行われるか確認してください。

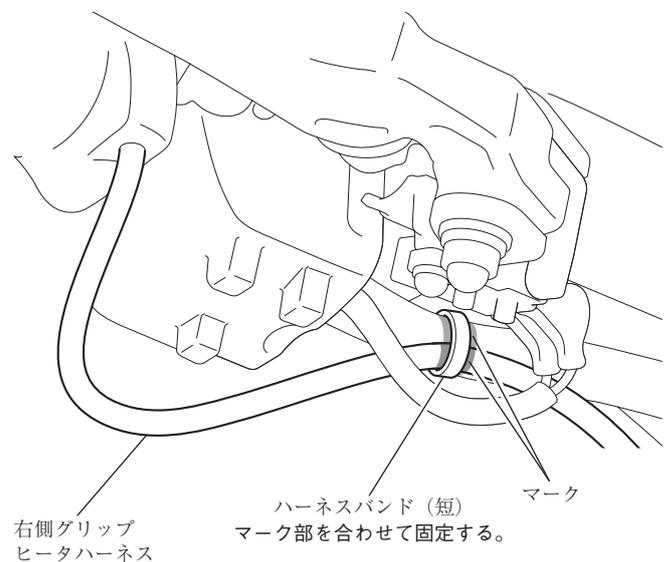


7) 図の寸法でマークを付ける。

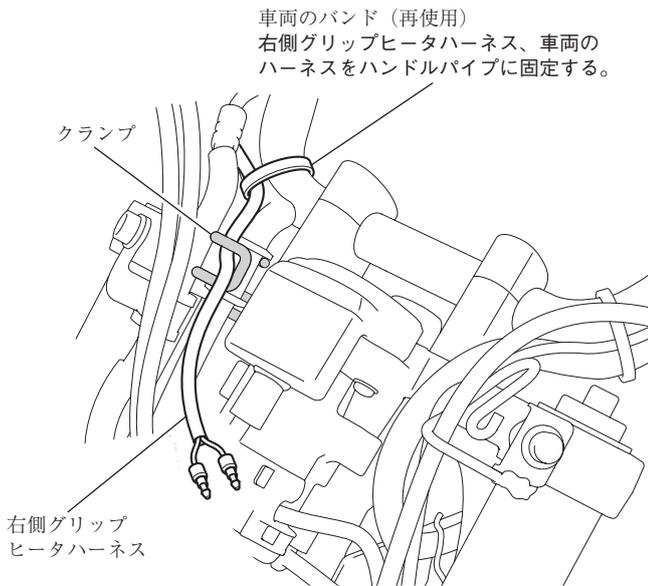


8) 図のように右側グリップヒータハーネスをバンドで固定する。

- ・スロットルの開閉を行い、グリップヒータハーネスの引きつりがないことを確認してください。

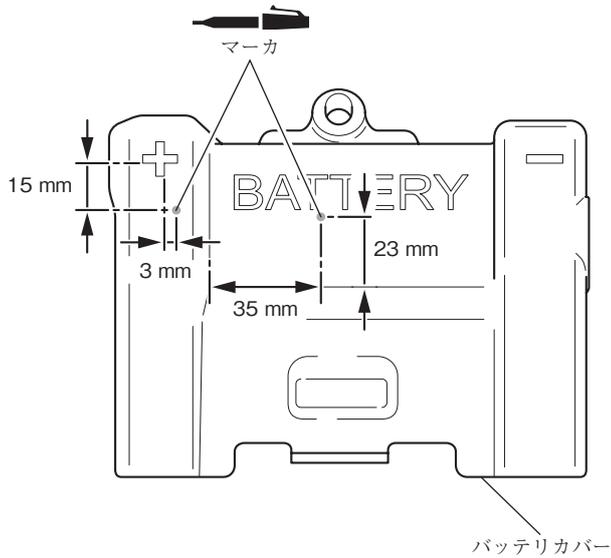


9) 図のように右側グリップヒータハーネスを取り廻し、バンドで固定する。

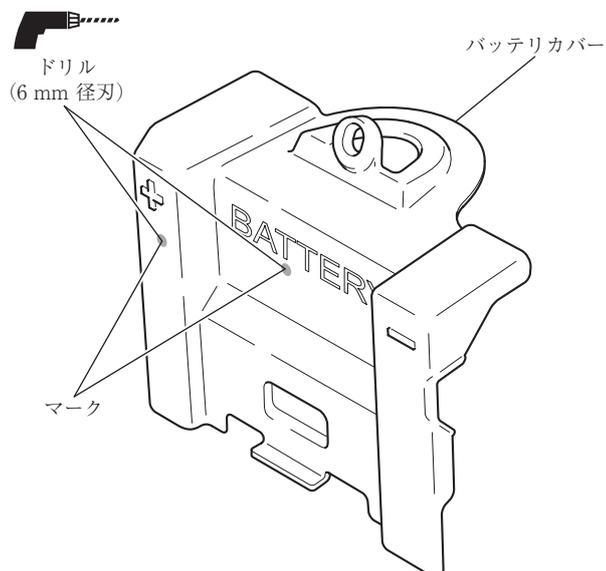


## 5. コントローラの取り付け

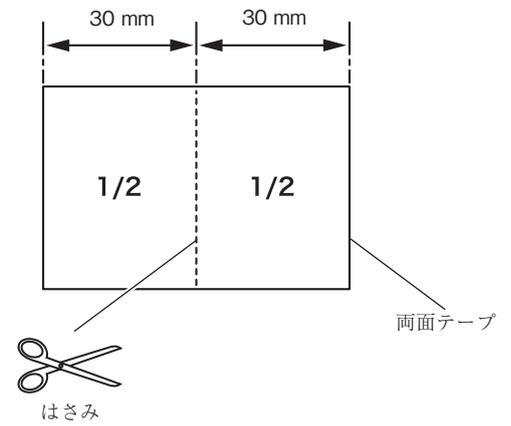
1) 図の寸法でバッテリーカバーにマークを付ける。



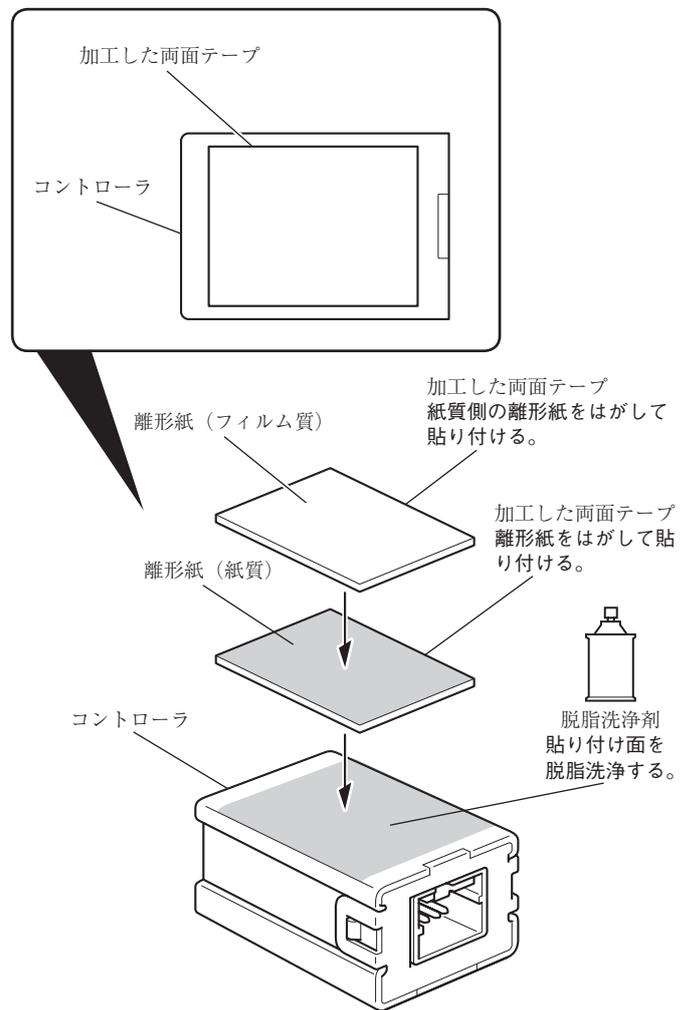
2) 図のようにマーク部を穴開け加工する。  
・穴開け後、バリを取り除いてください。



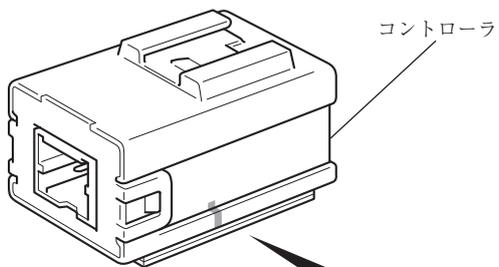
3) 図の寸法で両面テープを加工する。



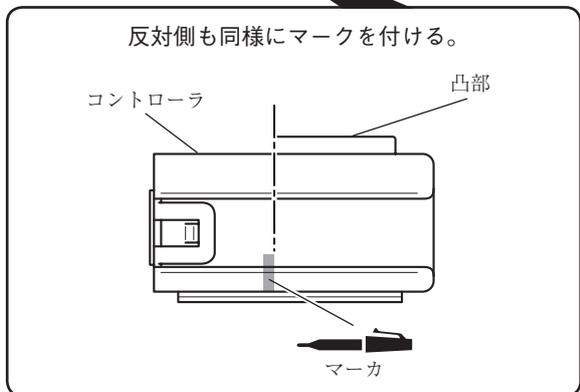
4) 図のように加工した両面テープをコントローラに貼り付ける。



5) 図のようにコントローラにマークを付ける。

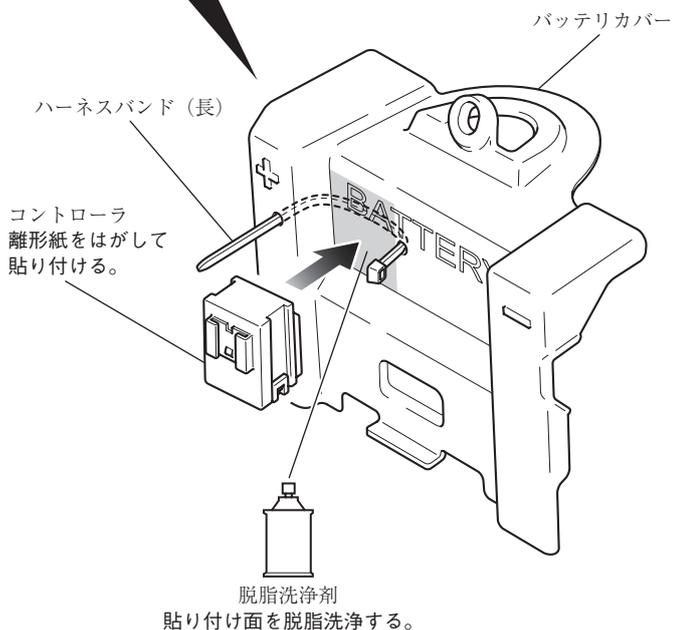
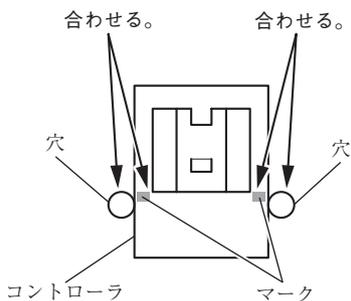


反対側も同様にマークを付ける。

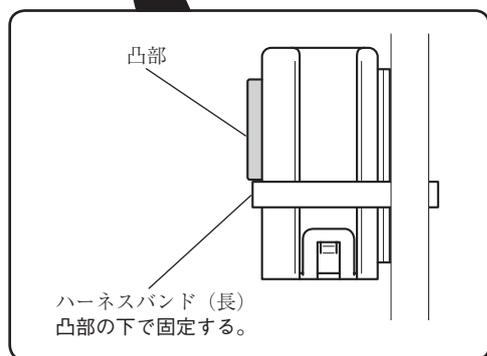
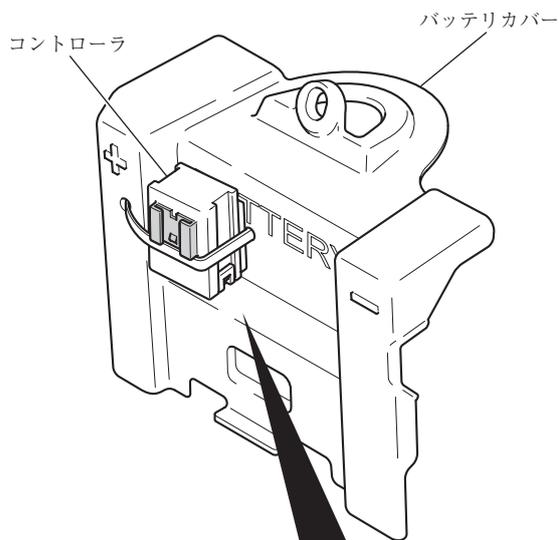


6) 図のようにバンドを加工した穴に通し、コントローラをバッテリーカバーに貼り付ける。

図のように穴とマーク部を合わせて貼り付ける。



7) 図のようにコントローラをバンドで固定する。



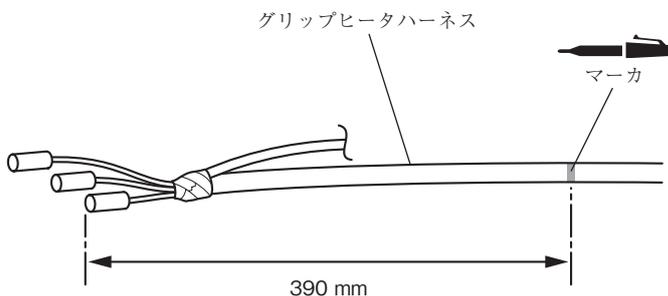
8) 取り外しの逆手順でバッテリー、バッテリーカバーを取り付ける。

・バッテリーケーブルは接続しないでください。

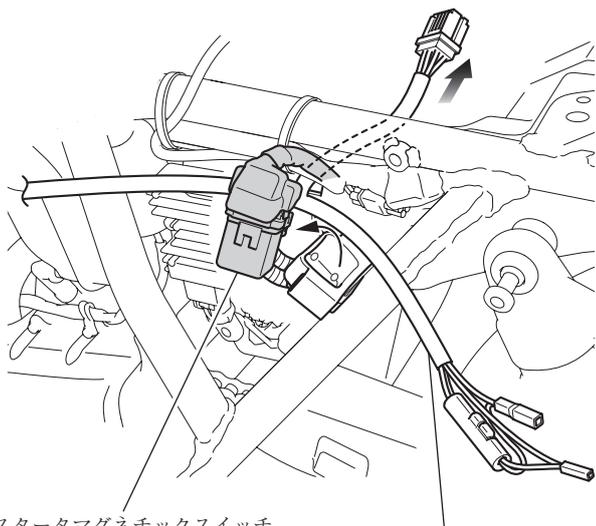
6. グリップヒータハーネスの取り廻し

・フェューエルタンクを上げての作業は、必ず二人作業で行い、一人がタンクを支え、もう一人がハーネスの取り廻しを行ってください。

1) 図の寸法でグリップヒータハーネスにマークを付ける。



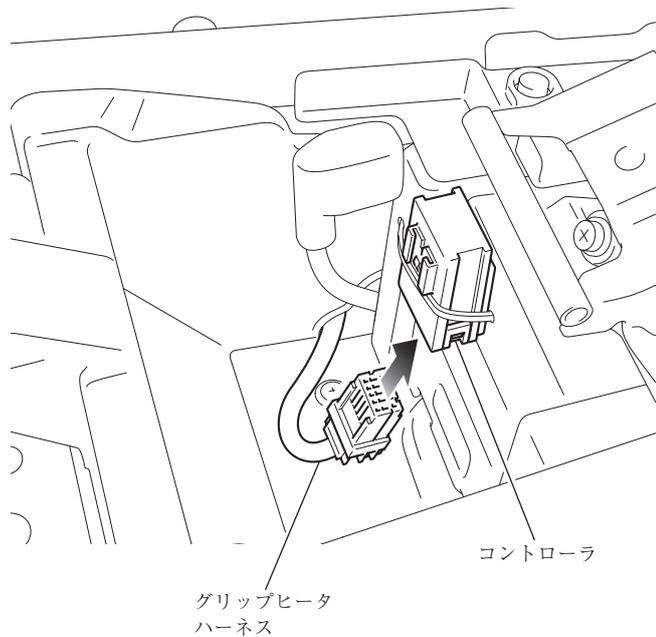
2) 図のようにグリップヒータハーネスを取り廻す。  
(左側)



スタータマグネチックスイッチ  
ラバーから外して、グリップ  
ヒータハーネスを通す。

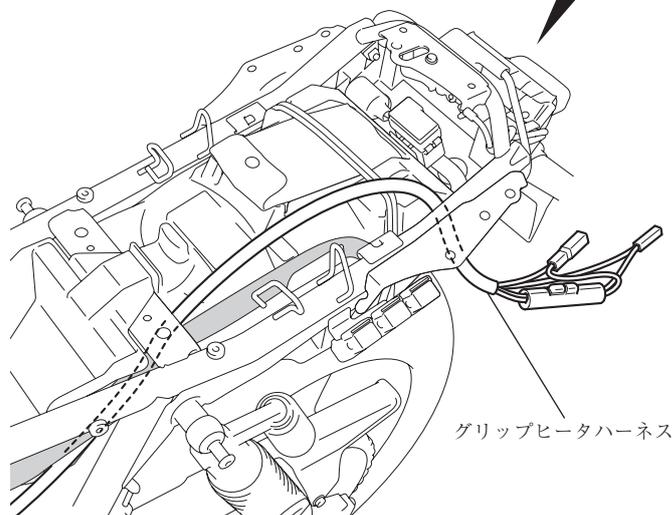
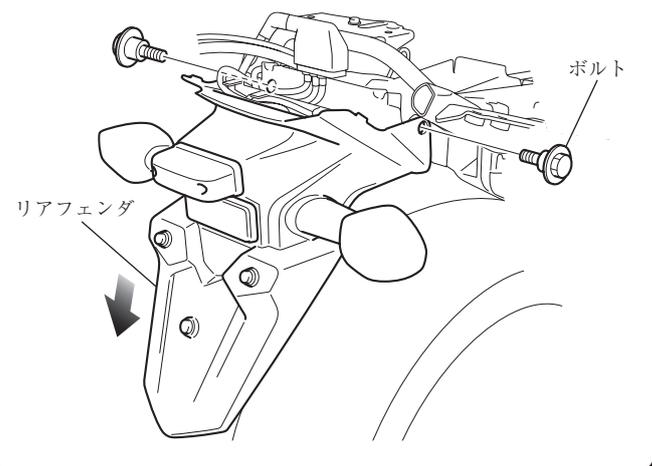
グリップヒータハーネス

3) 図のようにグリップヒータハーネスを接続する。

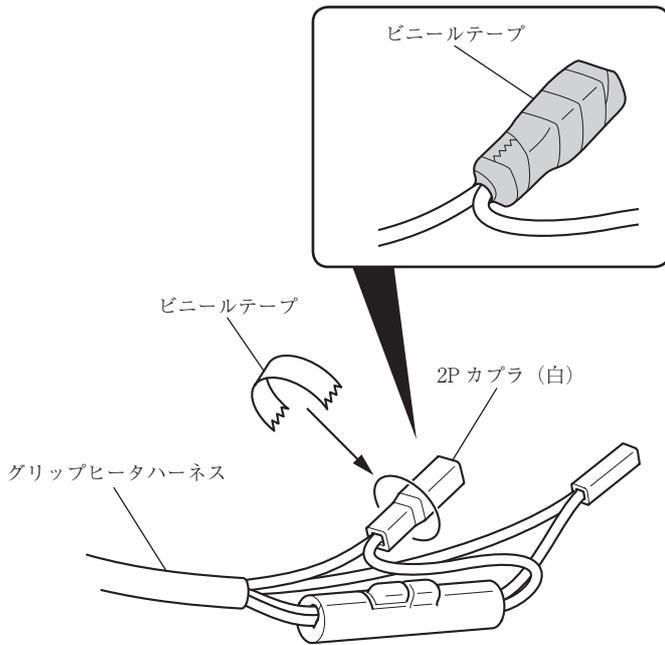


4) 図のようにグリップヒータハーネスを取り廻す。

図のようにリアフェンダを上げてインジケータランプのハー  
ネスを取り廻す。

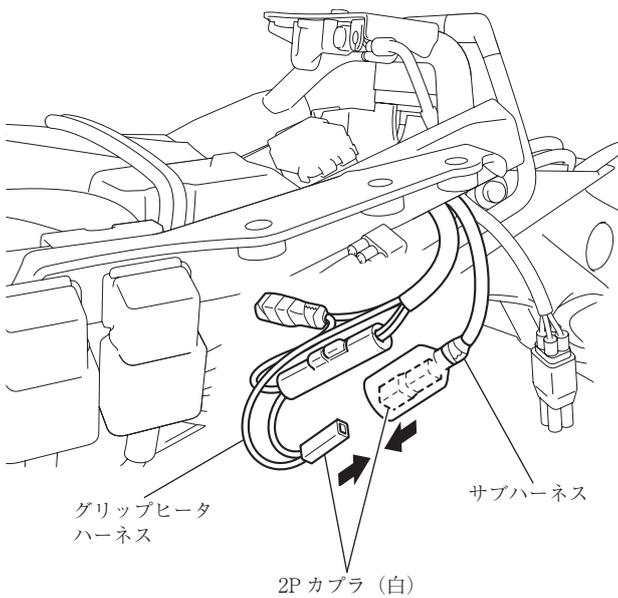


5) 図のようにグリップヒータハーネスのカプラをテープで巻く。

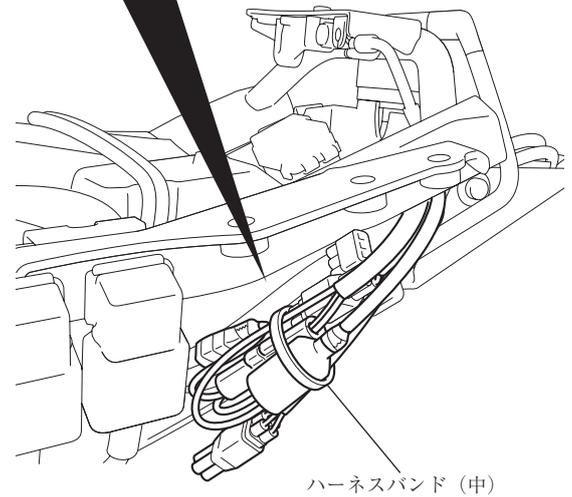
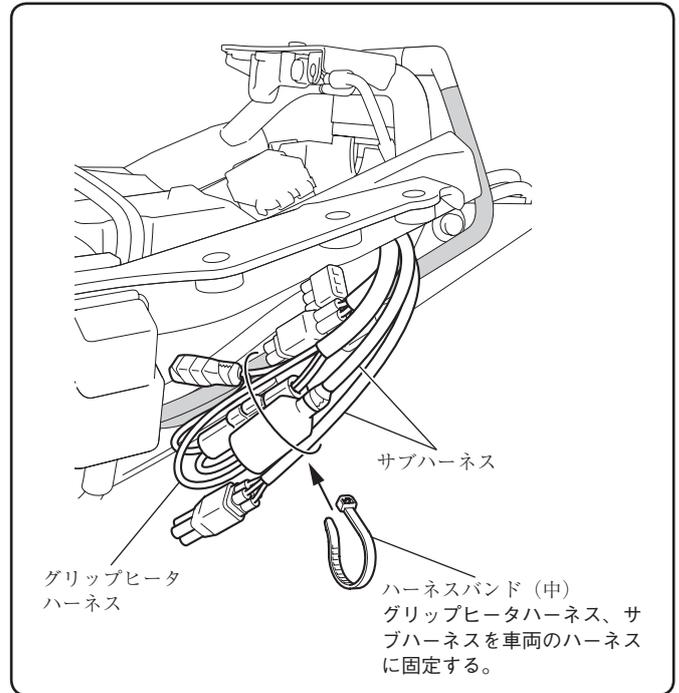


6) 図のようにグリップヒータハーネスをサブハーネスに接続する。

〈左側〉

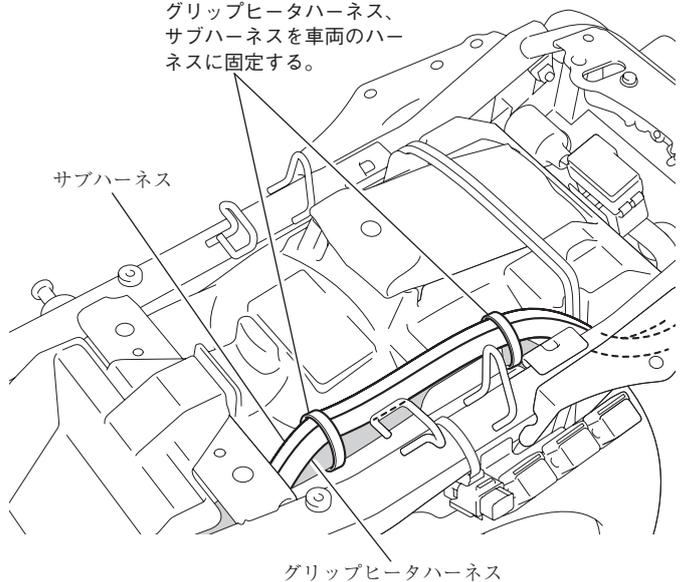


7) 図のように各ハーネスをバンドで固定する。



8) 図のようにグリップヒータハーネスをバンドで固定する。  
・ ツールバンドの引っ掛け部を避けてください。

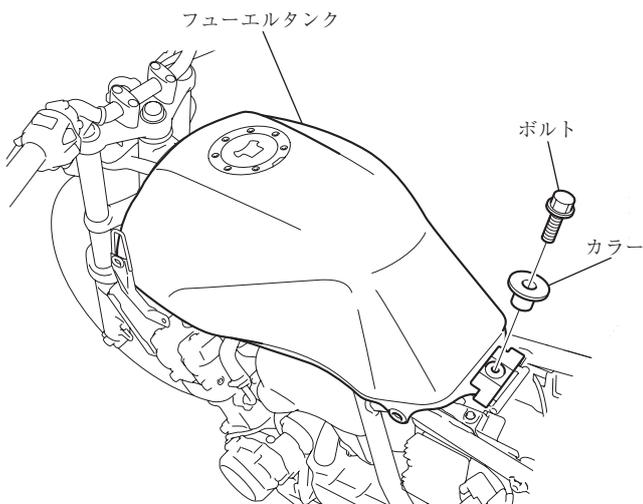
ハーネスバンド (中)  
グリップヒータハーネス、  
サブハーネスを車両のハー  
ネスに固定する。



9) 図のようにボルトを外し、フューエルタンクを持ち上げる。

 **アドバイス**

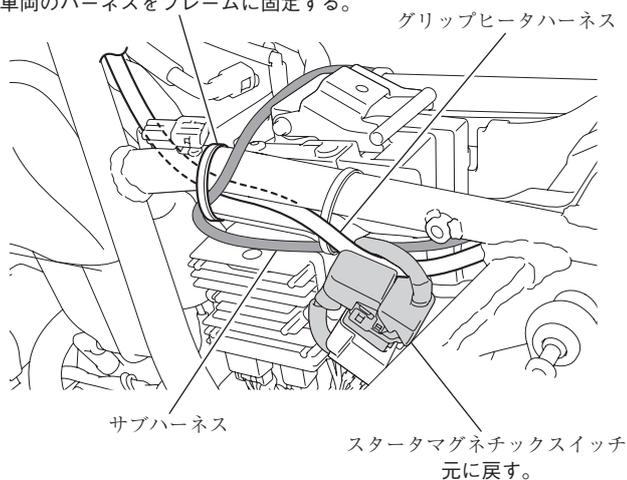
- ・フューエルタンクを取り外すときは、サービスマニュアルを参照して作業をしてください。



10) 図のようにグリップヒータハーネスをバンドで固定する。  
 ・ETC 車載器、アラーム同時装着時も同様にハーネスを一緒にバンドで固定してください。

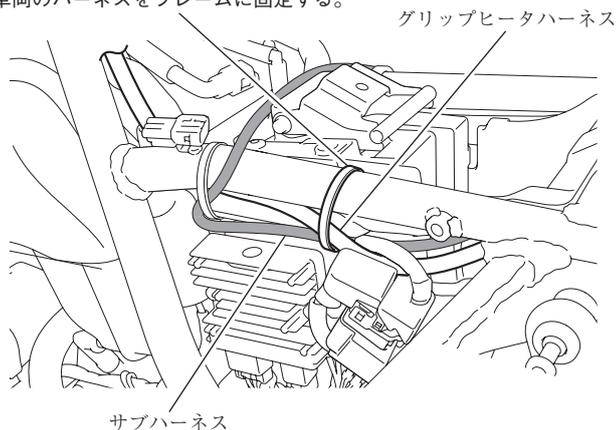
〈左側〉

車両のバンド (再使用)  
 グリップヒータハーネス、サブハーネス、  
 車両のハーネスをフレームに固定する。



11) 図のようにグリップヒータハーネスをバンドで固定する。  
 ・ETC 車載器、アラーム同時装着時も同様にハーネスを一緒にバンドで固定してください。

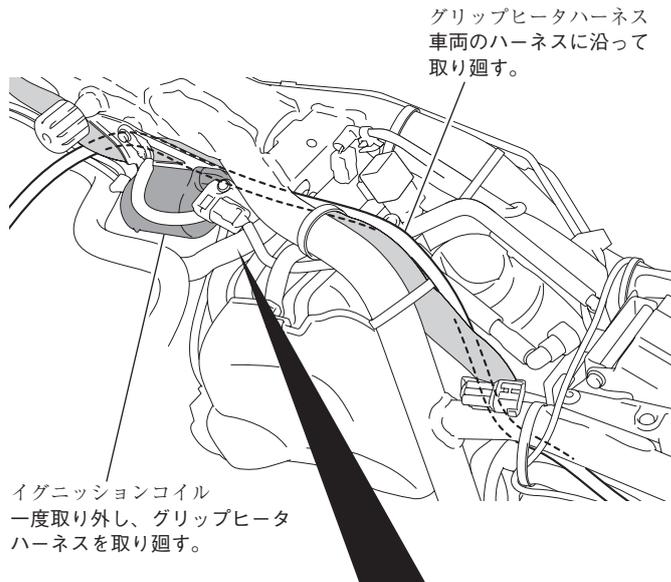
車両のバンド (再使用)  
 グリップヒータハーネス、サブハーネス、  
 車両のハーネスをフレームに固定する。



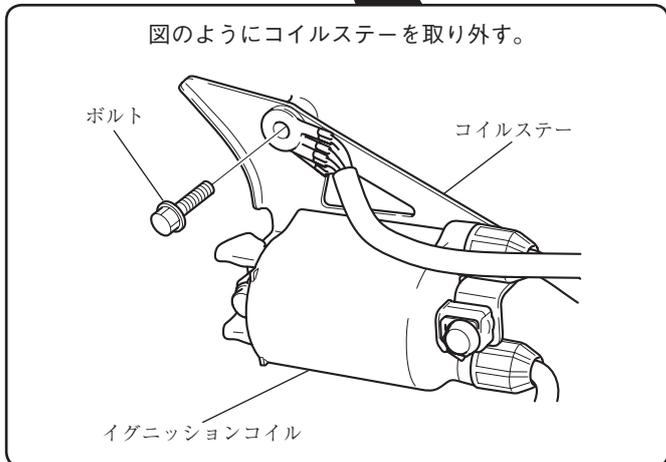
12) 図のようにグリップヒータハーネスを取り廻す。

- ・コイルステータ取り付け時、ハーネスのかみ込みがないことを確認してください。

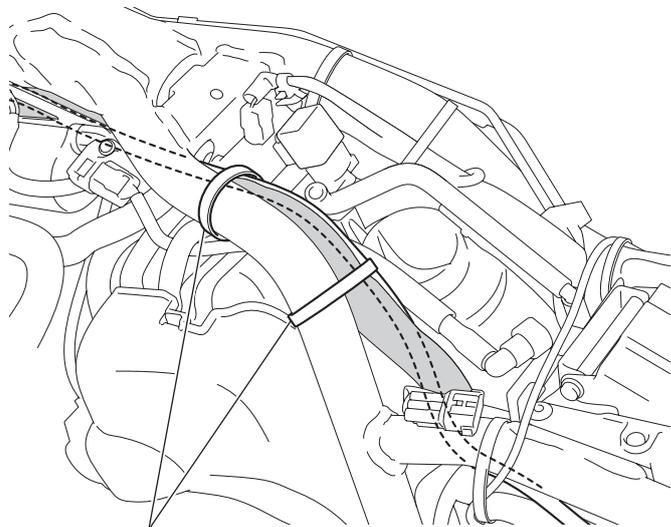
〈左側〉



図のようにコイルステータを取り外す。



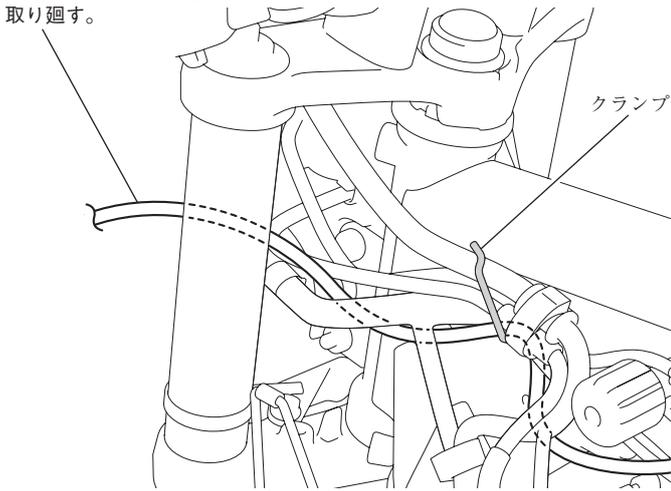
13) 図のようにグリップヒータハーネスをバンドで固定する。  
 ・ETC 車載器、アラーム同時装着時も同様にハーネスを一緒にバンドで固定してください。



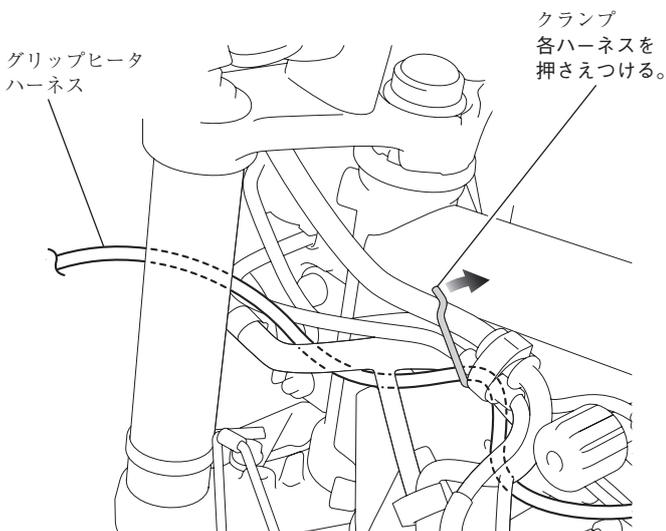
車両のバンド (再使用)  
 グリップヒータハーネス、車両の  
 ハーネスをフレームに固定する。

14) 図のようにグリップヒータハーネスを取り廻す。

グリップヒータハーネス  
車両のハーネスに沿って  
取り廻す。

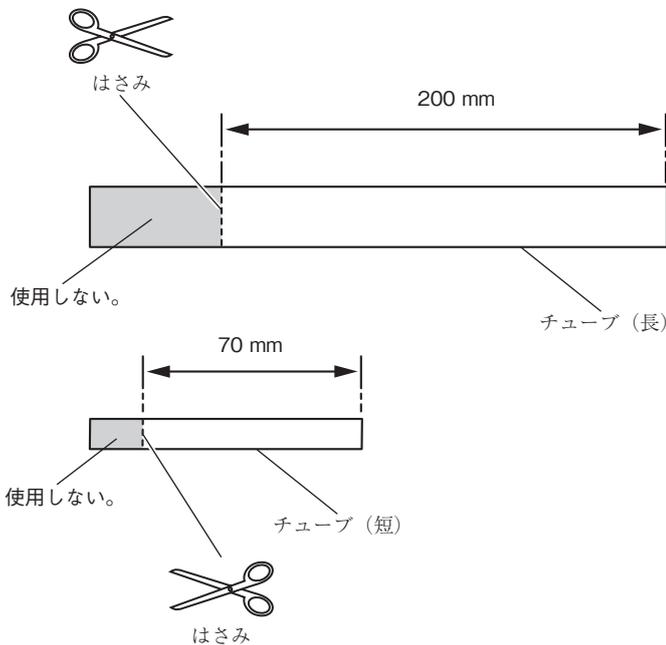


15) 図のようにクランプを閉じて、各ハーネスを固定する。



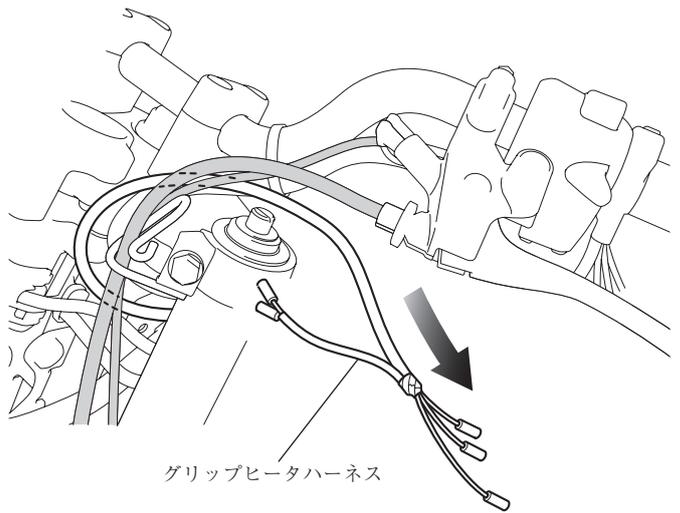
- 16) 取り外しの逆手順でフューエルタンクを取り付ける。  
 ・フューエルタンク取り付け時、ハーネスのかみ込み、引きつりがいいことを確認してください。  
 ・チューブ、ホースのかみ込み、つぶれがないことを確認してください。

17) 図のように各チューブを加工する。

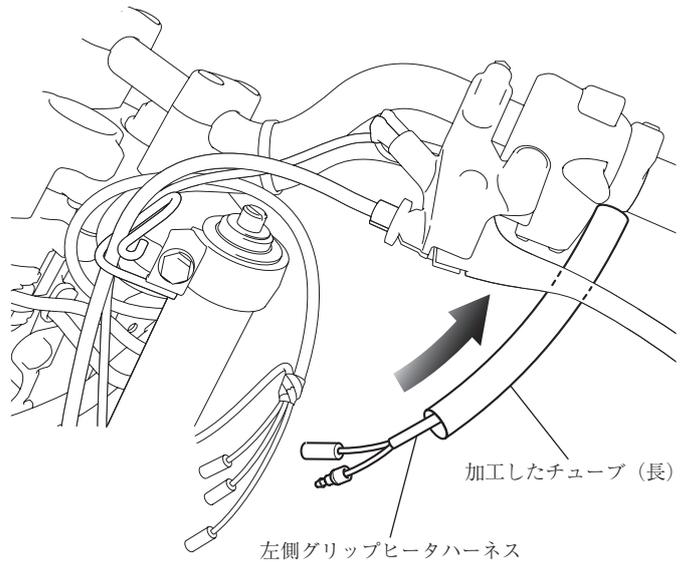


18) 図のようにグリップヒータハーネスを取り廻す。

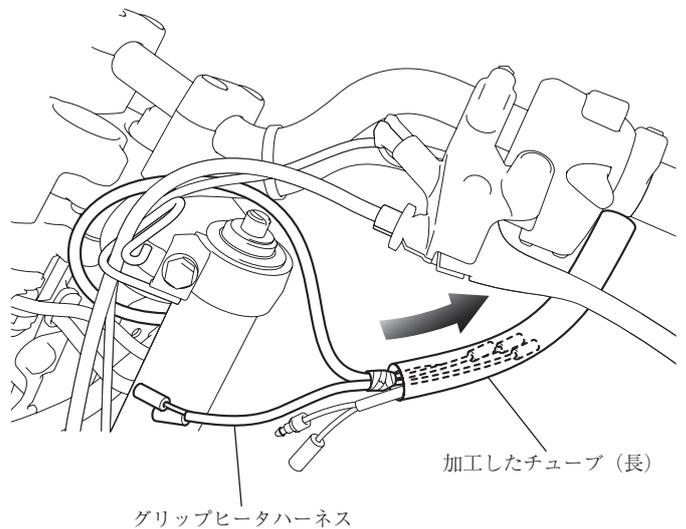
〈左側〉



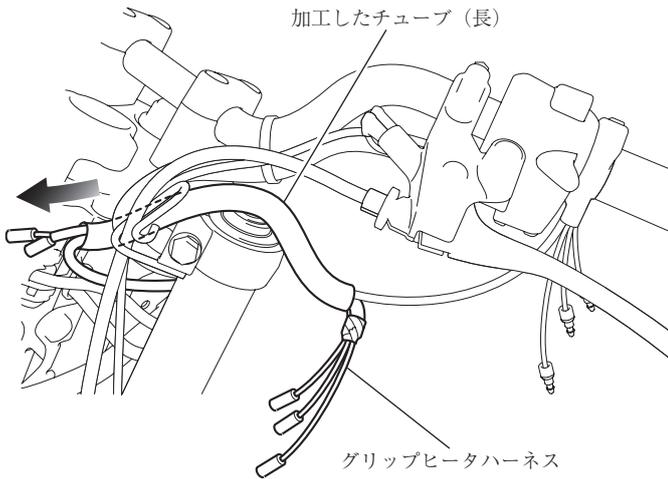
19) 図のように左側グリップヒータハーネスの根元までチューブを通す。



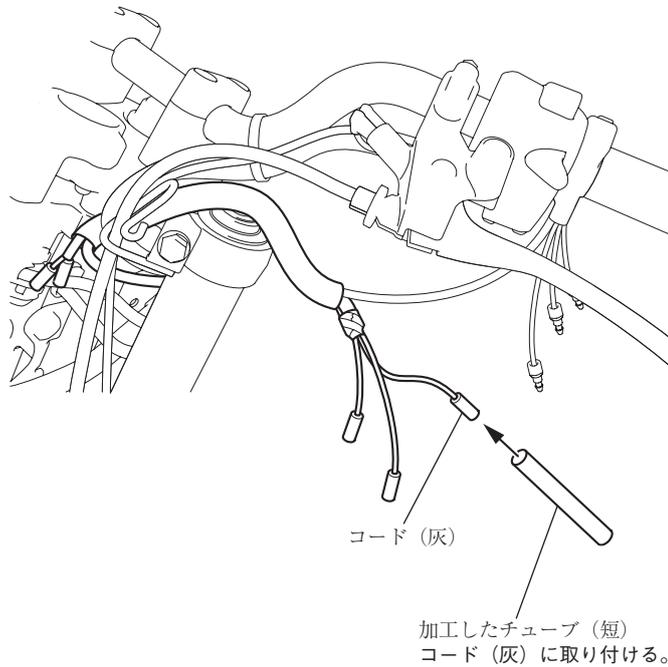
20) 図のようにグリップヒータハーネスをチューブに通す。



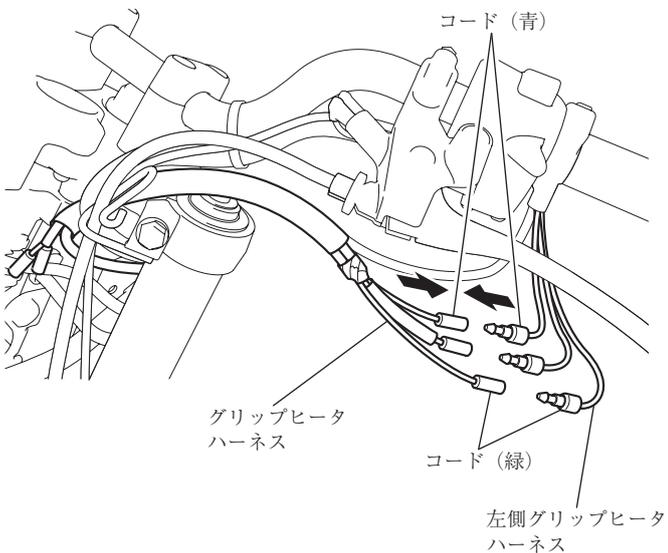
21) 図のようにチューブを移動し、グリップヒータハーネスを引き出す。



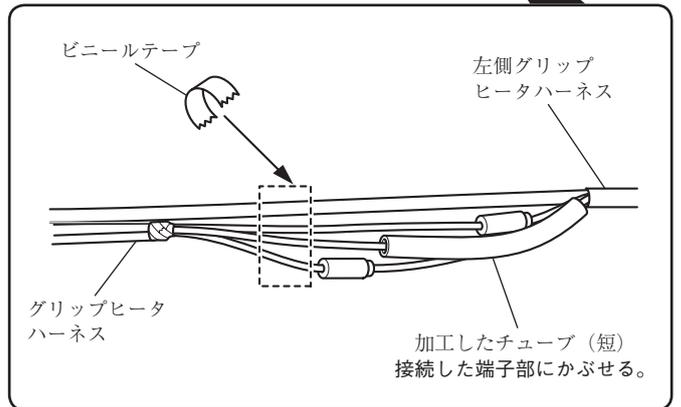
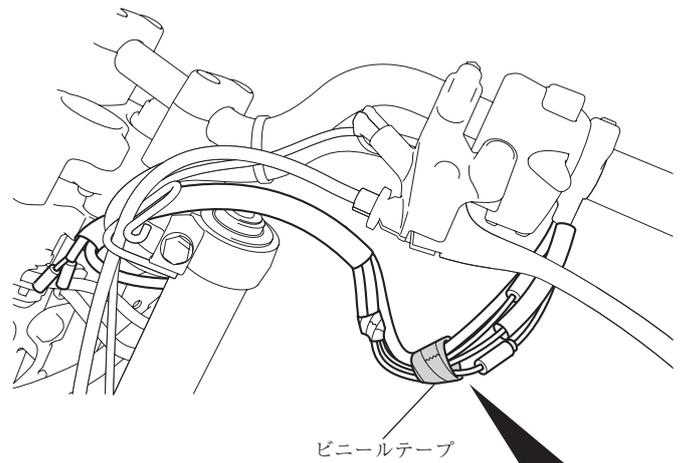
22) 図のようにチューブ (小) を取り付ける。



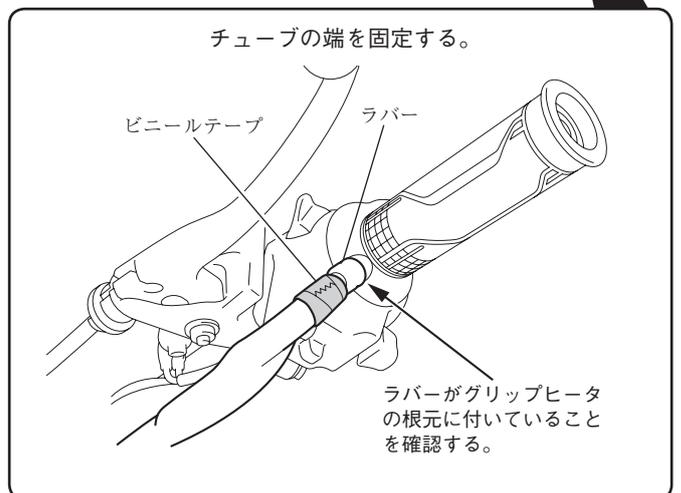
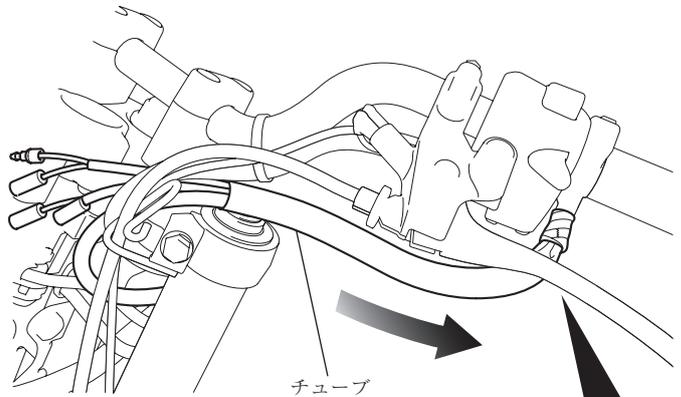
23) 図のようにグリップヒータハーネスを接続する。



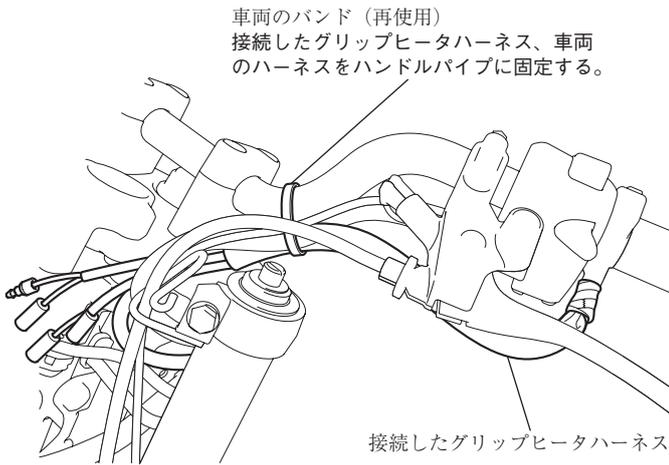
24) 図の位置にテープを巻く。



25) 図のようにチューブを移動し、テープで固定する。

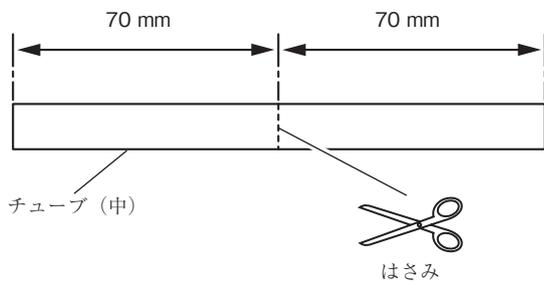


26) 図のように接続したグリップヒータハーネスをバンドで固定する。

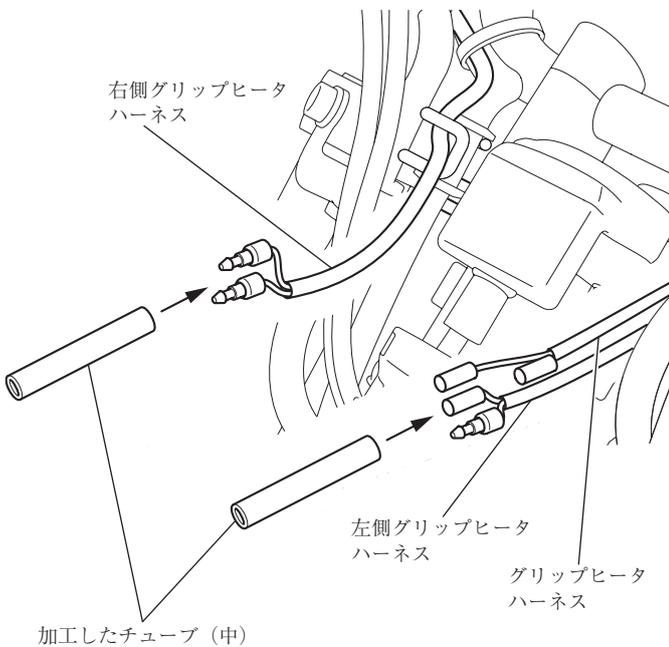


## 7. グリップヒータハーネスの固定

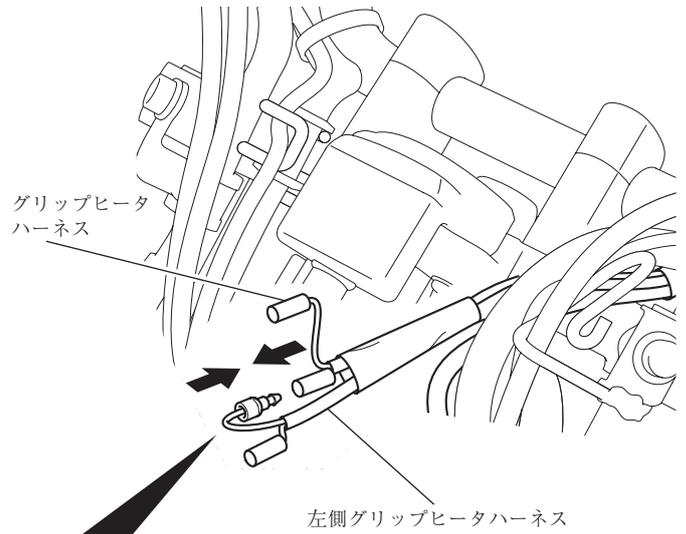
1) 図のようにチューブ（中）を加工する。



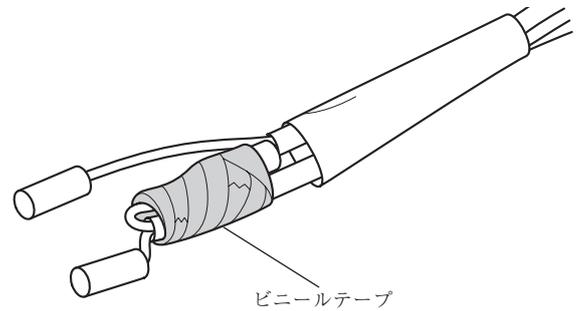
2) 図のように各ハーネスにチューブを通す。



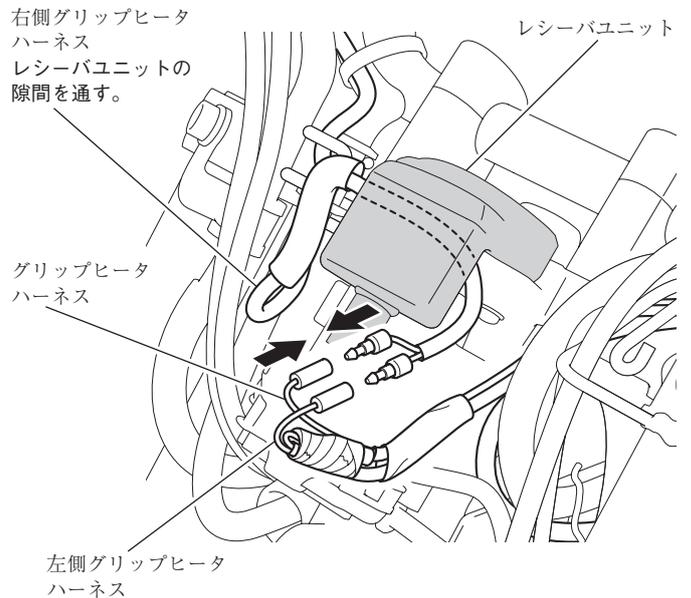
3) 図のようにグリップヒータハーネスを接続する。



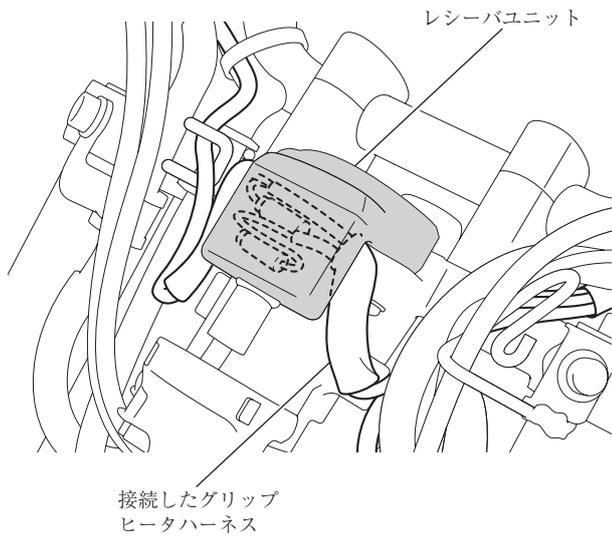
接続部をテープで巻く。



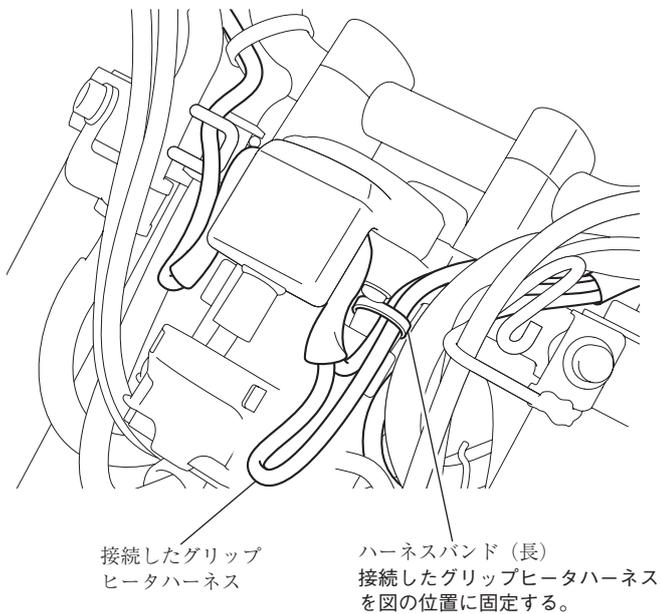
4) 図のようにグリップヒータハーネスを接続する。



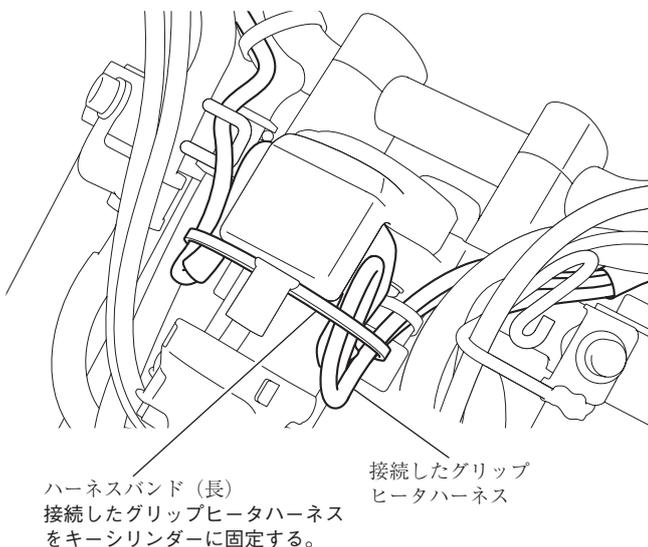
5) 図のように接続部をレシーバユニット裏に収める。



6) 図の位置でグリップヒータハーネスをバンドで固定する。



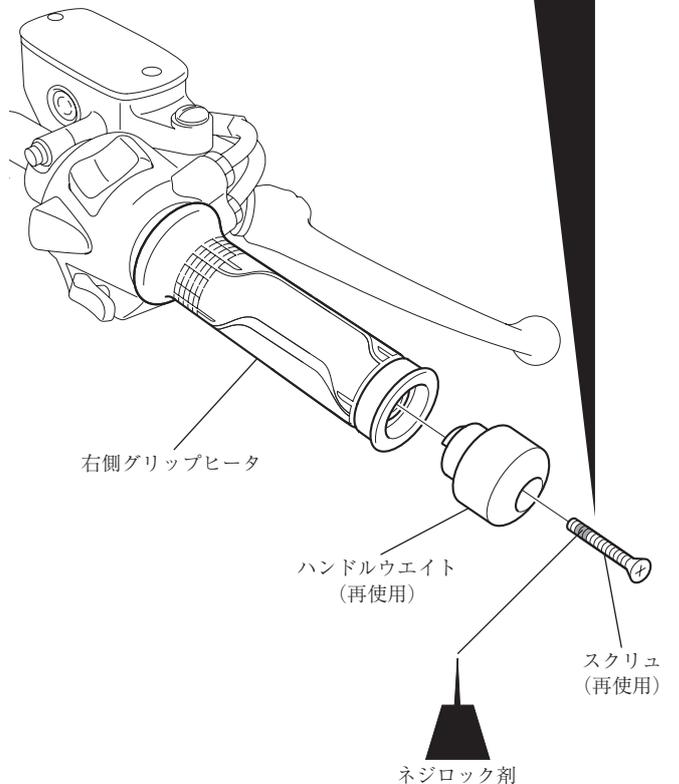
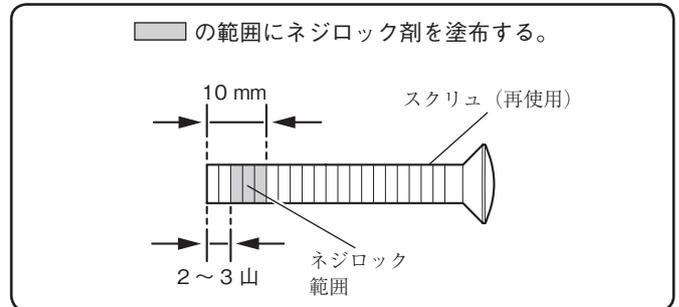
7) 図の位置で左右のグリップヒータハーネスをバンドで固定する。



8) 各ハーネスの引きつりを確認する。  
 ・ハンドルを左右に動かし、ハーネスのかみ込み、引きつりがないことを確認してください。

## 8. 車両部品の取り付け

1) 図のようにハンドルウエイトを取り付ける。  
 ・ネジロック剤を塗布する前に、脱脂洗浄剤できれいにしてください。  
 ・必ずねじ部にネジロック剤を塗布してください。  
 ・左側も同様に取り付けてください。



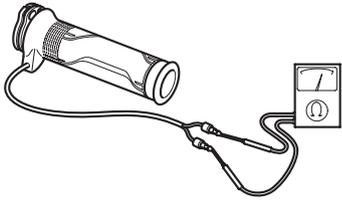
2) 取り外しの逆手順で取り外した車両の部品を取り付ける。  
 ・ハーネスのかみ込み、引きつりがないことを確認してください。  
 3) バッテリーカバーを取り外し、バッテリーケーブルを取り付ける。  
 ・バッテリーケーブル (+) から取り付けてください。

## 9. 取り付け後の確認

1) グリップヒータの作動およびスロットルの開閉、ヘッドライトなどの灯火器類の作動について確認する。

## 販売店様故障診断

◎ グリップヒータ作動確認以外の各部品、回路の点検はエンジンを停止し、メインスイッチを OFF にしてください。

不具合事象	確認内容
グリップヒータが作動しない。 ・ グリップヒータの不良 ・ グリップヒータコイルの不良 ・ ハーネスの断線、またはショート	<p>① コード類（端子、カプラ）の結線は確実に行われているか？</p> <p>② グリップヒータの点検            端子間で各グリップヒータの抵抗を測定する。            標準値 右側 <math>2.2 \Omega \pm 10\%</math>            左側 <math>2.2 \Omega \pm 10\%</math></p>  <p>③ ヒータハーネスの点検            導通検査を行う。</p> <p>④ 上記の①②③の点検で異常がなく、グリップヒータが作動しないときはグリップヒータの交換を行う。            ※スイッチはIC回路が含まれているため通常の点検（導通点検等）での確認は困難です。</p>

## 配線図

